2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名	株式会社　星医療酸器	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7634	URL	https://www.hosi.co.jp
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）	星　幸男
問合せ先責任者	（役職名）経理部長	（氏名）	後藤　勇治　　(TEL) 03(3899)2101
半期報告書提出予定日	2026年11月11日	配当支払開始予定日	2026年12月１日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	7,839	6.3	958	11.0	1,013	10.5	675	8.5
2026年３月期中間期	7,372	1.2	863	△1.9	917	△0.8	622	△0.1

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　605百万円（　△29.6%）　2026年３月期中間期　860百万円（　8.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	216.12	―
2026年３月期中間期	199.22	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	26,931	20,790	76.0
2026年３月期	26,743	20,325	74.8

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　20,476百万円　　2026年３月期　20,005百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	45.00	―	45.00	90.00
2027年３月期	―	50.00			
2027年３月期(予想)			―	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	15,660	0.9	1,980	3.2	2,060	3.0	1,400	2.0	448.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	3,420,000株	2026年３月期	3,420,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	295,110株	2026年３月期	295,100株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	3,124,897株	2026年３月期中間期	3,123,275株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間期に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当中間期に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、中東情勢の影響によるエネルギー価格や物価の上昇など不透明な状況が続くなか、緩やかな回復基調で推移しました。雇用・所得環境に改善の動きがみられ、個人消費や生産に持ち直しの動きがみられるほか、設備投資も持ち直しております。先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復が続くことが期待されるものの、中東情勢の長期化に伴う原材料・エネルギー価格の動向や物価上昇が個人消費に及ぼす影響に加え、金融政策の変更に伴う金利・為替の変動など引き続き景気の下振れリスクに留意する必要があります。

このような環境のもと、当社グループは取扱商品・サービスの安定供給とお取引先様ならびに従業員の安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は7,839百万円（前期比6.3%増）、営業利益は958百万円（前期比11.0%増）、経常利益は1,013百万円（前期比10.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は675百万円（前期比8.5%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、新規取引先拡販が順調に推移し、医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。世界情勢を反映したエネルギーコスト上昇等に伴う材料・仕入価格上昇につきましては、原価を意識した製品価格の見直しやランニングコスト全般の見直しによる経費の効率化に取り組んでまいりました。また、物流サービスの再構築に着目した働き方改革に対応すべく、円滑な組織体制づくりや人的資源の拡充にも努めてまいりました。

これらの結果、売上高は1,985百万円（前期比2.5%増）、セグメント利益は300百万円（前期比6.4%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策による在宅医療推進の流れを背景に、患者様及び医療機関のニーズに的確に対応し、きめ細やかな営業活動を継続いたしました。その結果、「ＨＯＴ（在宅酸素療法）」、「ＣＰＡＰ（持続陽圧呼吸療法）」ともに堅調に推移いたしました。

利益面では、世界的な原材料価格の上昇やエネルギー関連コストの高騰が続いたものの、自助努力による合理化施策を推進し、収益性の確保に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は3,833百万円（前期比7.9%増）、セグメント利益は472百万円（前期比9.5%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備工事の施工及び配管設備の保守点検業務を行っております。医療用ガス設備工事は当中間連結会計期間において大型物件の完工が複数あり、好調に推移いたしました。配管設備の保守点検業務は変わらず安定した売上を確保しております。

これらの結果、売上高は666百万円（前期比8.6%増）、セグメント利益は103百万円（前期比12.7%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門におきまして、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所及び病院・施設への継続的な営業活動を図ってまいりました。

また、デイサービス及び訪問看護事業所部門におきましては、都内３拠点を事業基盤として地域へのＰＲ活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実を図り、順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は661百万円（前期比13.6%増）、セグメント利益は14百万円（前期セグメント利益０百万円）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷（東京都杉並区）」におきましては、24時間看護師常駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、感染症予防とまん延防止を第一とした施策を徹底することにより入居者様やご家族様への「安心」・「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。

通所介護施設である「あしつよ・文京（東京都文京区）」、「あしつよ巣鴨（東京都豊島区）」、「あしつよ王子（東京都北区）」におきましても、感染症防止に努めつつ地元密着型のサービスの提供と顧客サービスの多様化の対応に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は171百万円（前期比2.6%減）、セグメント損失は９百万円（前期セグメント損失２百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債、純資産の状況）

当中間連結会計期間末の総資産は26,931百万円（前連結会計年度末比187百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金が74百万円、流動資産のその他のうち立替金が145百万円、有形固定資産のその他のうちリース資産が124百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が82百万円、投資有価証券が72百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は6,140百万円（前連結会計年度末比277百万円減）となりました。これは主に、流動負債のその他のうち未払金が160百万円、リース債務が86百万円増加し、支払手形及び買掛金が490百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は20,790百万円（前連結会計年度末比464百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等により利益剰余金が534百万円増加し、その他有価証券評価差額金が57百万円減少したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間において、現金及び現金同等物は525百万円減少し、当中間連結会計期間末残高は5,385百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは816百万円（前期比382百万円減）となりました。

これは、税金等調整前中間純利益が1,013百万円となり、減価償却費528百万円、法人税等の支払額336百万円があったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは795百万円（前期比235百万円使用減）となりました。

これは、定期預金の預入による支出5,900百万円、定期預金の払戻による収入5,300百万円、有形固定資産の取得による支出127百万円があったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは546百万円（前期比145百万円使用増）となりました。

これは、リース債務の返済による支出405百万円及び配当金の支払額141百万円があったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、2026年５月11日発表の業績予想から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,210,930	11,285,693
受取手形、売掛金及び契約資産	2,892,507	2,810,193
棚卸資産	219,105	261,399
その他	107,682	212,237
貸倒引当金	△4,303	△4,209
流動資産合計	14,425,923	14,565,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,433,125	1,410,330
土地	3,645,607	3,645,607
その他（純額）	1,816,121	1,970,109
有形固定資産合計	6,894,853	7,026,047
無形固定資産	146,046	137,278
投資その他の資産		
投資有価証券	4,164,434	4,091,495
その他	1,118,333	1,111,481
貸倒引当金	△5,736	△384
投資その他の資産合計	5,277,031	5,202,591
固定資産合計	12,317,931	12,365,918
資産合計	26,743,855	26,931,232

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,662,803	2,172,266
未払法人税等	355,621	347,809
賞与引当金	202,948	191,648
その他	1,325,023	1,516,860
流動負債合計	4,546,395	4,228,584
固定負債		
役員退職慰労引当金	914,040	939,000
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	952,338	967,727
固定負債合計	1,871,523	1,911,872
負債合計	6,417,919	6,140,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	576,088	576,088
利益剰余金	18,462,749	18,997,490
自己株式	△830,573	△830,626
株主資本合計	18,644,444	19,179,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,310,520	1,252,669
退職給付に係る調整累計額	50,500	44,353
その他の包括利益累計額合計	1,361,021	1,297,023
非支配株主持分	320,469	314,620
純資産合計	20,325,936	20,790,775
負債純資産合計	26,743,855	26,931,232

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	7,372,926	7,839,598
売上原価	3,623,363	3,919,536
売上総利益	3,749,563	3,920,061
販売費及び一般管理費	2,885,792	2,961,249
営業利益	863,770	958,811
営業外収益		
受取利息	17,268	25,314
受取配当金	38,671	40,537
受取家賃	1,860	2,596
仕入割引	2,602	2,367
雑収入	4,234	4,284
営業外収益合計	64,638	75,099
営業外費用		
支払利息	6,708	16,076
雑損失	4,106	3,967
営業外費用合計	10,814	20,044
経常利益	917,594	1,013,867
特別損失		
固定資産除却損	1,600	―
特別損失合計	1,600	―
税金等調整前中間純利益	915,994	1,013,867
法人税等	289,457	329,015
中間純利益	626,536	684,851
非支配株主に帰属する中間純利益	4,319	9,490
親会社株主に帰属する中間純利益	622,217	675,361

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	626,536	684,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238,545	△73,059
退職給付に係る調整額	△4,995	△6,279
その他の包括利益合計	233,549	△79,338
中間包括利益	860,086	605,513
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	848,162	611,363
非支配株主に係る中間包括利益	11,924	△5,849

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	915,994	1,013,867
減価償却費	451,211	528,348
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	90,030	24,960
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△396	△5,445
賞与引当金の増減額（△は減少）	△34,000	△11,300
受取利息及び受取配当金	△55,940	△65,851
支払利息	6,708	16,076
有形固定資産除売却損益（△は益）	1,600	―
売上債権の増減額（△は増加）	396,038	87,665
棚卸資産の増減額（△は増加）	△64,985	△42,293
仕入債務の増減額（△は減少）	△297,005	△490,536
その他	54,906	48,676
小計	1,464,162	1,104,166
利息及び配当金の受取額	51,684	65,655
利息の支払額	△6,708	△16,076
法人税等の支払額	△309,338	△336,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,199,800	816,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,500,000	△5,900,000
定期預金の払戻による収入	5,100,000	5,300,000
有形固定資産の取得による支出	△83,919	△127,367
有形固定資産の除却による支出	△1,600	―
無形固定資産の取得による支出	△1,086	△25,830
投資有価証券の取得による支出	△536,104	△37,343
長期貸付金の回収による収入	120	―
その他の支出	△9,375	△5,704
その他の収入	755	269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,031,210	△795,976
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△150	―
リース債務の返済による支出	△292,170	△405,075
自己株式の取得による支出	△217	△53
配当金の支払額	△108,395	△141,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400,934	△546,135
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△232,344	△525,236
現金及び現金同等物の期首残高	5,925,818	5,910,930
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,693,473	5,385,693

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス関連事業	在宅医療関連事業	医療用ガス設備工事関連事業	介護福祉関連事業	施設介護関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,936,620	3,552,512	613,866	582,319	176,492	6,861,810	511,115	7,372,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	37,353	―	―	37,353	―	37,353
計	1,936,620	3,552,512	651,219	582,319	176,492	6,899,164	511,115	7,410,280
セグメント利益又は損失(△)	282,841	431,386	91,694	60	△2,145	803,835	59,935	863,770

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	803,835
「その他」の区分の利益	59,935
セグメント間取引の消去	―
中間連結損益計算書の営業利益	863,770

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス関連事業	在宅医療関連事業	医療用ガス設備工事関連事業	介護福祉関連事業	施設介護関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,985,543	3,833,856	666,623	661,341	171,855	7,319,220	520,377	7,839,598
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	45,179	―	―	45,179	―	45,179
計	1,985,543	3,833,856	711,803	661,341	171,855	7,364,400	520,377	7,884,777
セグメント利益又は損失(△)	300,993	472,431	103,367	14,395	△9,719	881,468	77,343	958,811

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	881,468
「その他」の区分の利益	77,343
セグメント間取引の消去	―
中間連結損益計算書の営業利益	958,811

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。